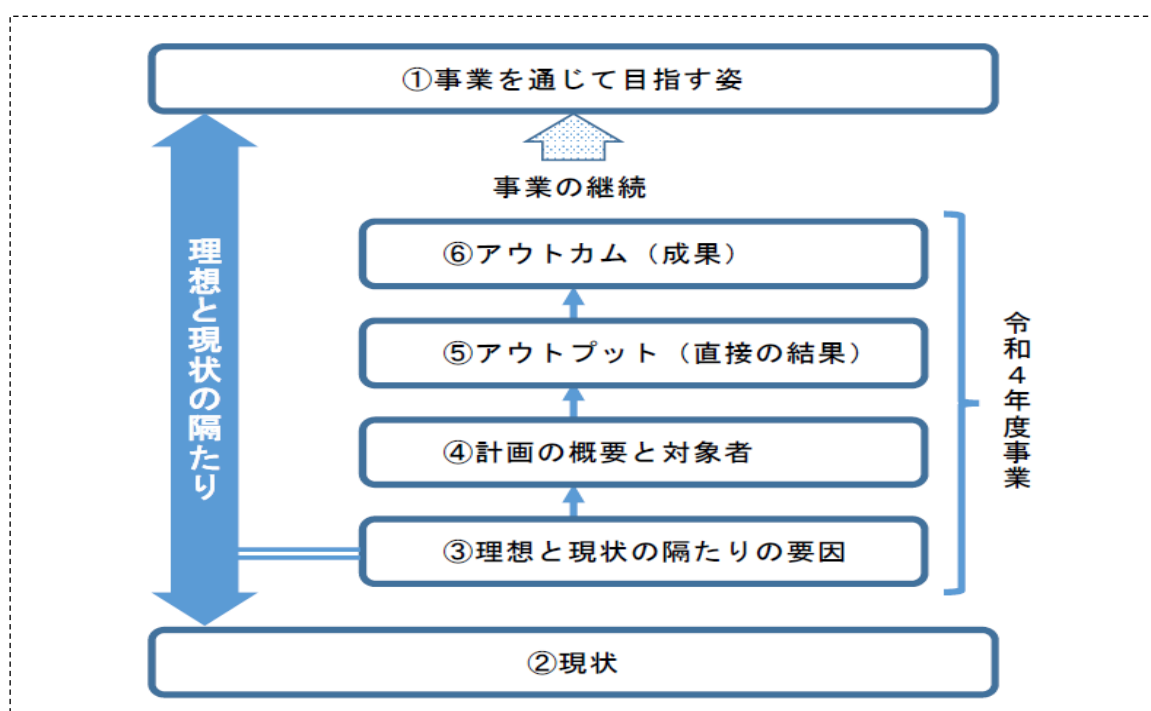


事業計画書

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 事業名 | 「新しい命の誕生を地域で祝福する」農薬化学肥料不使用野菜の提供事業 |
| 団体名 | 特定非営利活動法人こうのさと |

◆ 記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

農薬・化学肥料不使用の野菜を地域の多くの人に関わって育て、妊婦さんへ先輩ママを中心に定期的に宅配する。妊娠期間中からお腹の赤ちゃんと地域の人がつながりを育み、妊娠および育児中の母親の孤立を防ぎ、地域で新しい命の誕生を祝福するまちを目指す。
倉敷市およびその周辺に住む妊婦さんへ、毎週 1000 円程度の野菜を無償提供する。
目標値：2022 年度に倉敷市の出生数の約 3%（100 名）

2 現状

上記1の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

2018年、国立成育医療研究センターの調査では、産後1年までに死亡した妊産婦の死亡原因の一位が自殺であり、産後うつによる可能性が高いと報告されている。また、2020年以降の感染症対策下で日常的に不安にさらされる中、妊娠および出産後のストレスが加わり、より孤独と不安が強まりやすい状況になっている。

行政では「妊婦・子育て相談ステーション すくすく」が妊娠から出産後の子育て支援を行っている。一方で、かつては同じ地域の中で形成されていた、地域の人や先輩ママと自然な形で関わりの中で関係を育む機会は、地域ごとの特色により差がある。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記1と2の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

- ・核家族化から始まっている、家庭と地域のつながりの希薄化。
 - ・女性の働く環境が整備され、出産直前まで働き、出産後も職場復帰できるようになった反面、家庭と職場以外のつながりが薄れてしまった。^{※1※2}
 - ・感染症対策のため、リアルに会う機会、集まる機会が失われた。
- ※1：女性の継続就業率は、38.0%（平成17～21年に出産）→53.1%（平成22～26年に出産）に上昇。
〔厚生労働省：令和元年版働く女性の実情〕
- ※2：妊娠8ヶ月以降まで勤務した割合 70.9%〔マイナビウーマン2016年5月調べ〕

4 計画の概要と対象者（令和4年度）

上記3で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しますか。150字以内で簡潔にまとめてください（計画の詳細は下記7に記入してください）。

農薬化学肥料不使用の野菜を地域の多くの人に関わって育てる。できた野菜を倉敷および周辺在住の妊婦さんへ、先輩ママが中心になって週1回定期的に届ける。また広く繋がりをつくるため助産院へも届ける。

◆ アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、〇〇〇というアウトプットが生じ、次にその成果として、△△というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施→アウトプット→アウトカム

◆ アウトプットとアウトカムの例

| 事業名 | 活動 | アウトプット | アウトカム |
|---------|---------|---------------|-------------|
| 学習支援事業 | 学習会の開催 | 月4回、各回20名参加 | 参加者の学習意欲の向上 |
| 就労支援事業 | 冊子作成・配布 | 1千冊作成、800人に配布 | 就労に必要な知識の習得 |
| 保護者支援事業 | 居場所の運営 | 週2回、各回15名参加 | 育児の負担感の緩和 |
| 移動支援事業 | 高齢者の送迎 | 週2回、各回5名利用 | 移動手段の選択肢の増加 |

5 アウトプット（直接の結果）

令和4年度の事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスを提供しますか。

倉敷市および周辺在住の妊婦さんへ、妊娠中から産後1ヶ月（または4回）の間、毎週1000円相当の農薬化学肥料不使用の野菜を無償提供する。倉敷市の出生数（令和元年3,941名）の約3%にあたる100名への提供を目指す。

アウトプットを測る指標と数値目標を記入してください。

| 指標 | 現状の数値 | 事業実施後の数値目標 |
|--------------|---------------|------------------------|
| ・提供する妊婦さんの人数 | 15名、のべ93回 | 100名、のべ1200回（平均12週間提供） |
| ・栽培面積 | 1732㎡（60%が稼働） | 3,000㎡（新規に畑を賃借） |
| ・栽培ボランティア | 大人20、子供20人/月 | 大人40、子供40人/月 |
| ・宅配ボランティア | 登録11名、宅配のべ29回 | 登録50人、Voによる宅配のべ1000回 |

事業実施後の数値目標は、どのような方法で測りますか。

エクセルシートで実績を記録する。

(様式第2号)

6 アウトカム（成果）

上記5のアウトプットが、令和4年度中に、地域や社会、人にもたらす変化や効果はどのようなものですか。

日常的に消費する野菜を定期的に宅配することで、自然な関わりの中で、妊婦さんと地域の人、先輩ママとの関係を築ける。身近に相談できる人と、毎週顔を合わせる人がいることで、妊娠、子育て中の不安が和らぎ、安心して出産、子育てできる心境になる。このまちで子どもを産みたい、育てたいと思ってもらえる発信ができるようになる。

7 計画の詳細

(1) 具体的な内容

※内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらいなど、できるだけ明確に記入してください。

●目標値

倉敷市および周辺在住の妊婦さんへ、妊娠中から産後1ヶ月（または4回）の間、毎週1,000円相当の農薬化学肥料不使用の野菜を無償提供する。倉敷市の出生数（令和元年3,941名）の約3%にあたる100名への提供を目指す。

●野菜の生産体制

- ・平成元年より無農薬無肥料栽培を続ける石原農園より栽培指導を受ける。
- ・西坂周辺の賃借の内1,732㎡を継続借用する。それに加えて、近隣の休耕地を借り、合計3,000㎡の農地面積を確保する。
- ・畑活イベントを定期的に開催し、Vo参加しやすい形をつくる。現在、第1・3(水)、第4(土)に開催している「みんなで畑活」に加えて、「ミニ畑活」を毎週定例日に開催する。
- ・障害者福祉施設と連携して、畑をコミュニケーション訓練の場として提供しつつ、栽培工数を確保する。
- ・社会福祉協議会経由で学生Voや定年退職者のVoを募集する。
- ・Vo募集説明会を定期開催する。

●妊婦さんの登録

- ・助産院、産婦人科経由で新規の妊婦さんを募集する。
- ・このさとの野菜を受け取って出産された方からの紹介動画を撮影する。
- ・出産された方とVoの方のお茶会を開催し、そこからの紹介を増やす。
- ・野菜の生産量に合わせて、募集チラシの配布場所を増やす。
- ・定期的に募集説明会を開催する。

●野菜の宅配

- ・本助成金より交通費程度の謝礼を支払い、人員を確保する。
- ・畑活イベント等や募集説明会を開催し、宅配Voを募集する。
- ・倉敷、岡山のママが中心に活動している「お山の会」「Flower Wings」※に協力頂く。
- ・宅配しきれない野菜は、たんぼぼ助産院経由で妊婦さんに提供する。

※「お山の会」は、乳幼児から小学生が自然環境の中で遊べる場や、お母さんの集まる場づくりをしている。

「Flower Wings」は学校給食をオーガニック食材に変える活動をしている。

●運営資金

- ・特例認定NPO法人を2022年度中に取得し、寄附受けやすい体制をつくる。
- ・企業や大口の協賛を得る「一畝パートナー」を形にする。
- ・SNS等の発信から個人寄附を募集する。

(2) スケジュール (準備～実施～報告)

| | |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 通年 | ・毎月第1・3(水)と第4(土)に「みんなで畑活」開催 ・毎月第2・4(水)と毎週(金)に「ミニ畑活」開催 ・偶数月に妊婦さん、Voさんの募集説明会を開催 ・6、10、2月に出産された方とVoさんの交流会「祝福のワお茶会」を開催 |
| 4月 | 現状の1732㎡を80%活用できるよう作付けと管理実施、並行して農地探し |
| 5月 | 特例認定NPO法人の認可申請 |
| 6月 | NPO法人総会で事業報告 |
| 9月 | 特例認定NPO法人の認可取得 |
| 10月 | 半年間の中間振り返り |
| 3月 | 一年間の活動まとめ |

(3) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。また、人件費を支払う予定の団体会員には、人件費欄に「有」を記入してください。

| 氏名 | 事業に有効な資格や経験 | 人件費 |
|-------------------------|-----------------------------------------------|-------|
| 片岡 徹也 | 看護師、保健師、加工食品診断士、JICA 青年海外協力隊で母子保健活動に従事 | 無 |
| 中村 聡良 | (一財)生涯学習財団認定マスターコーチ、ヤンマーで農業関係に15年間従事、障害者雇用歴6年 | 無 |
| 木林 京子 | 小児科医師、一般社団法人すこやかのお代表理事 | 無 |
| 石原 克彦 | 無農薬無肥料農業歴7年、石原家としては33年 | 無 |
| 井上 晃宏 | 学童指導員2年、フリーカメラマン | 無 |
| シャノン 香織 | 助産師、倉敷市の助産院あいのわ院長 | 無 |
| 片岡 朋見 | 保育士、JICA 青年海外協力隊で女性グループ支援活動に従事 | 無 |
| 10名を超える場合は、外〇〇名としてください⇒ | | 外()名 |

8 受益者負担 ※事業の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

(1) 徴収する (見込み：登録費 1000 円。以降は無償。有償にした場合の収益よりも無償で寄付を募るほうが資金調達できると考えます。)

(2) 徴収しない(理由：_____)

収支予算書

1 収入の部

| 科目 | 内訳 | 金額(円)※2 | 積算根拠 |
|-------------|-------|----------------|------------------|
| 受益者負担 | 登録費 | 100,000 | 1000円 x 100人 |
| 会費からの繰入 | 正会員会費 | 100,000 | |
| その他 | 助成金 | 100,000 | グリーンコープ・役員交通費に充当 |
| | 寄附金 | 200,000 | 個人寄附、一畝パートナー寄附 |
| 市補助金 | | 300,000 | |
| 収入合計 | | 800,000 | (支出合計と一致) |

2 支出の部

| 科目 | 内訳 | 金額(円)※2 | 積算根拠 |
|---------------|----------|----------------|-----------------------|
| 人件費(会員)※1 | | | |
| 交通費(会員)※1 | | | |
| 人件費(アルバイト等) | | | |
| 謝金(講師等) | | | |
| 旅費交通費(講師等) | 宅配Vo交通費 | 500,000 | 500円 x 宅配Voのべ1000回 |
| 消耗品費 | 野菜の包装材 | 20,000 | 大2500枚@4円、小10,000枚@1円 |
| | 種苗・農業資材費 | 64,000 | 令和3年度を参考に概算 |
| 印刷製本費 | 募集チラシ | 30,000 | 6000枚@5円 |
| 通信運搬費 | | | |
| 保険料 | ボランティア保険 | 18,000 | 350円 x 50名 |
| 使用料・賃借料 | 畑の賃借料 | 23,000 | 3000㎡ (7600円/1000㎡) |
| 外注費・委託費 | チラシ改訂 | 30,000 | |
| 対象経費計 | | 685,000 | |
| 食糧費 | お茶会 | 15,000 | 5000円 x 3回 |
| 人件費 | | | |
| その他 | 役員交通費 | 100,000 | 月8~9千円 |
| 対象外経費計 | | 115,000 | |
| 支出合計 | | 800,000 | (収入合計と一致) |

※1: 会員に支払う人件費交通費は、協働事業部門のみ計上でき、その合算額は対象経費計の1割を上限とする。

※2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入する。

組織運営体制

| | |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 団体名 | 特定非営利活動法人こうのさと |
| ふりがな | とくていひえいりかつどうほうじんこうのさと |
| 法人格 (○をつけてください) | 任意団体・ NPO 法人 ・一般財団法人・一般社団法人・公益社団法人 公益財団法人・社会福祉法人・協同組合・その他 () |
| CANPAN 登録の有無 | 有 ・ 無 |

※CANPAN: 日本財団及び特定非営利法人 CANPAN センターが運営する、市民・NPO・企業などの活動を支援する WEB サイト

※以下の項目は、CANPAN に登録する情報と同等の内容です。登録済みの場合は、そちらを参照すると便利です。

※新規チャレンジコースに申し込む団体は、**情報のある項目のみ**記入してください。

1 組織体制

| | | |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 任意団体活動開始年月 | 2012 年 12 月 (西暦) | |
| 法人格取得年月 | 2021 年 1 月 (西暦) | |
| 事務所 所在地 | 倉敷市西坂 683 番地 | |
| 代表者 | 職・氏名 | 片岡 徹也 |
| | 電話番号 | 080-3873-5523 (連絡可能時間帯 9:00 ~ 17:00) |
| ウェブサイト URL | https://konosato.org/ | |
| 活動地域 | 倉敷市および周辺地域 | |
| 役員数・職員数計 | 5 名 (役員 5 名, 職員 0 名) | |
| 設立年月 | 2021 年 1 月 | |
| 活動分野 (該当に○をする) (複数回答可) | 子ども・青少年・障がい者・高齢者・在日外国人・留学生 福祉 ・ 保健 ・医療・ 教育・学習支援 地域 ・ まちづくり ・文化・芸術の振興・スポーツの振興・ 環境 ・エコロジー・災害救援・地域安全・人権・平和・国際協力・国際交流・ 男女共同参画・IT の推進・科学技術の振興・経済活動の活性化・起業支援・ 就労支援・労働問題・消費者保護・市民活動団体の支援・観光・農山漁村・中山間・ 助成活動 食 ・産業、漁業、林業・行政監視・情報公開・行政への政策提言・ 学術研究・その他 () | |
| 活動目的 (規約等に定めるもの) | 持続可能で自然環境への負荷が少ない農業を推進し、安心安全な農作物 を生産できる体制づくりに勤め、その食料をこれから母になる妊産婦に 向けて提供することによって、地域の連帯を醸成していきます。 住民が安心して子どもを育てられ、すべての人々が健やかに暮らせる地 域社会づくりに貢献し、その土地に産まれる命をみんなで祝福する文化 を拓けていきます。 | |

| | |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設立以来の主な活動実績 | <ul style="list-style-type: none">・平成24年12月、石原農園と協力し、餅つきイベントを開始。各年、季節ごとに田植え、稲刈り、流しそうめん、月見団子づくり、味噌づくりなど行事を継続して開催。・平成31年9月、石原農園と有志主催で、古民家を活用したマルシェを定期的に開催。・令和2年8月、発起人会を開催し、設立の趣旨、定款、事業計画書及び活動予算、設立当初の役員などについての案を審議・令和2年10月、設立総会を開催し、発起人より設立の趣旨、定款、事業計画及び活動予算、設立当初の役員などの案を提案し、審議の上決定した。・令和3年1月、NPO法人設立して、本格的に活動を開始。・毎月第一日曜日に、石原農園と協働し古民家で地産地消を意識したこのさとマルシェを開催。食の意識の高い子育て世代の参加が多く、2021年4月～11月の間で延べ大人174人、子ども201人が来場している。・令和3年より、祝福のまちづくりプロジェクトとして、NPO法人の畑でとれた農薬化学肥料不使用の野菜を妊婦さんに定期的(毎週)にプレゼントしている。現在、15名(のべ93回)におよそ1000円分のお野菜を提供しており、産まれた児は11人となった。 |
| 現在特に力を入れていること | 農薬化学肥料不使用野菜の妊婦さんへの提供 |

2 団体概要と財政状況

| | |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団体の活動・業務 (事業活動の概要) | <ul style="list-style-type: none">・妊産婦・乳幼児への無農薬・無化学肥料作物の提供・持続可能な農業の実施と、安心安全な食品の流通支援・子育て中の父母交流と、子どもが自然の中で遊び学べる場づくり・食と体、自然と人のつながりを理解し、健康社会を実現する教育 |
| 今後の活動の方向性 | 倉敷市および周辺在住の妊婦さんへ、妊娠中から産後1ヶ月(または4回)の間、毎週1000円相当の農薬化学肥料不使用の野菜を無償提供する。倉敷市の出生数(令和元年3,941名)の約3%にあたる100名への提供を目指す。 |
| 最新決算総額 (該当に○をする) | 100万円未満・100～500万円未満・500～1,000万円未満・1,000～5,000万円未満・5,000～1億円未満・1～5億円未満・5億円以上 |
| 定期刊行物 | なし |

(様式第4号)

3 活動概要と協働実績

| | |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 助成金・補助金等の支援を受けた実績 | 令和3年度倉敷市市民企画提案事業 30万円 一般財団法人グリーンコープ生協おかやま「2021年度福祉活動組合員基金」 10万円 |
| 他NPO・市民活動団体との協働実績 | お山の会、Flowerwings 経由で野菜を提供 |
| 企業・団体との協働実績 | たんぼぼ助産院に野菜を置かせていただき、妊婦さんへ提供 石原農園と共催でマルシェを開催 |
| 行政との協働実績(委託事業など) | なし |